

賛助会員PRコーナー No.9

株式会社 標識一番

本社 及び ショールーム

〒208-0021 武蔵村山市三ツ藤 1-8-6

TEL 042-520-3741(代)

FAX 042-520-3751

東大和支店

東京都東大和市向原 3-2-13

第1資材センター

〒208-0031 東京都武蔵村山市岸 3-53-7

第2資材センター

東京都武蔵村山市中原 3-23

事業内容

保安用品の販売及びレンタル

交通安全施設向け備品の販売

各種看板の作成及び販売

テナント向け看板及び電光掲示板等の販売

光り物雑貨・輸入雑貨の販売

ショットバーの運営

保安用品の販売&リースは

小売OK!

(株)標識一番

検索

卸売OK!

カラーコーン

コーンバー

車止め

ガードフェンス



カーブミラー

ヘルメット

オリジナル看板

LED灯e, t, c

武蔵村山市三ツ藤1-8-6 (新青梅街道沿い
ガードマンロボット目印)

TEL 042-520-3741(代)

建設業年度末 労働災害防止強調月間

2009 3月1日～31日

1 月 事 業 報 告

- 9日 広報委員会174号編集発行
- 23日 あきる野地区委員会
- 26日 総務委員会
- 28日 理事会
- 28日 新春経営講習会
テーマ『生き残れる建設業と消え行く建設業
その差はどこにあるのか?』
- 28日 新年会
会場：青梅市福祉センター ふようの間

2 月 事 業 計 画

- 6日 広報委員会175号編集発行
- 16日 総務委員会
- 18日 正副理事長会・理事会

◎多摩橋

昔は私設だった多摩橋は、明治8年(1875年)永田橋とともに公認の渡津となりました。

明治23年(1890年)、河川本流の移動により、草花村へ管理が委譲され、森山の渡しと呼ばれて親しまれていましたが、大正9年、『道交法』が公布施行されました。それまでの渡船や簡易な木橋の整備が行われ、六郷橋、日野橋などとともに、大正14年2月鉄筋コンクリートの「多摩橋」が完成した。(長さ180m、幅5.5m)

秋川筋から多摩川を渡る唯一の永久橋が取り壊されたのは、橋自体の劣化でなく、戦後川砂利の乱堀によって昭和23年(1948年)の洪水で橋脚が陥没し、補修されるまで一時交通途絶してしまいました。

橋基礎の根入れ不足と、幅員の狭さからくる外的条件で、昭和45年3月下流方に現在の橋が出来た。

路線名、主要地方道第7号(杉並五日市線)

通称名は五日市街道

用途 道路橋

橋長 251m

幅員 車道7m 歩道2m×2

構造 桁橋

上部型式：4径間連続

2主 PC 箱桁

下部：橋台2基 橋脚3基

水面まで10m



写真2



(仮橋写真：3)



写真1：昭和初期



◇ 特集 ◇ 多摩川に掛かる橋 第24回

◎永田橋

明治21年『福生村村誌稿』に『福生渡』所在は、村の西部、本村と草花村を結ぶ里道の間、多摩川にあり、水深3尺、舟は常備老艘。毎年11月より3、4月の頃迄幅6尺の橋を架ける。」とあります。(写真1：昭和初期、あきる野側より福生を写した写真。以前は、船で越える「永田の渡し」がありました。)

戦後の、疲労困憊の中での、カスリーン台風(キャスリン台風)(昭和22年9月9号)により永田橋全壊し流失。

当時は、米軍横田基地があったため仮橋として、昭和25年に橋脚コンクリート上部は木造の板橋長さ151.00m、幅3.6mができた。その後木部が腐食し東京都は都道95号線(五日市から所沢線)の改修工事として永田橋は、鉄骨コンクリート連続桁に改補、長241.50m、幅6mを昭和32年9月着工し、36年3月完成。(上部型式 4径間連続PC桁 2連 B、B、R、V工法 車歩道分離)現在は一般都道第165号線(伊奈福生線)と改称されています。

(竣工年月 昭和48年3月 写真2)

平成18年11月から架け替え工事が始まり、現在は仮橋となり橋長247.09m、幅員10.5~11.95mH形鋼杭橋台・橋脚(18基)：175本。

(仮橋写真：3) (新橋の完成は平成24年3月の予定とか)